

さばかん つうしん

さんばんぜいかんきょうがくしゅうかん



ふなばし三番瀬環境学習館、
ふなばし三番瀬海浜公園から、
毎月情報やメッセージをたくさん
掲載している「さばかん通信」。
ぜひご利用ください。

こんげつ
今月のテーマ

ふゆ さが 冬にサクラを探そう!

みなさんこんにちは。ようやく寒くなってきましたね。植物も葉を落としはじめて、いよいよ本格的な冬が始まります。私は歩くのが好きなのですが、冬の散歩中に「あ、サクラだ。春は綺麗だろうね」と言うと、たいてい「これサクラなの?」と驚かれます。たしかに、冬のサクラは葉を落として幹と枝だけになっているので、ぱっと見ても何の木か分かりにくいのです。今回は、そんな冬のサクラの見つけ方を紹介します。

おぼ 落ち葉の「ニキビ」を探そう

もしまだ赤もしくは黄色に紅葉した葉が落ちていれば、拾ってみましょう。サクラの葉は楕円形をしていて、縁がギザギザしているのが特徴です。葉を支える茎のところをよーく見ると、「ニキビ」がついています。(写真1) この「ニキビ」は「蜜腺」といって、サクラにはたくさんの種類がありますが、バラ科サクラ属の葉にはたいていこの蜜腺がついています。

ぜんたい すがた 全体の姿を見てみよう

もう葉も全然ない! という時期でも、手掛かりはまだあります。まずは全体の姿を見てみましょう。特に春の花が美しいサクラ、「ソメイヨシノ」の老木は、幹が低い位置で枝分かれし横に広がった形で、全体が黒っぽい色をしています。(図1) さらに近づいて幹を見てみると、横には細かいスジやひび割れ、縦にも大きなひび割れがあるのが特徴です。(写真2)

記事を書いた人 アテンダント 鷹野

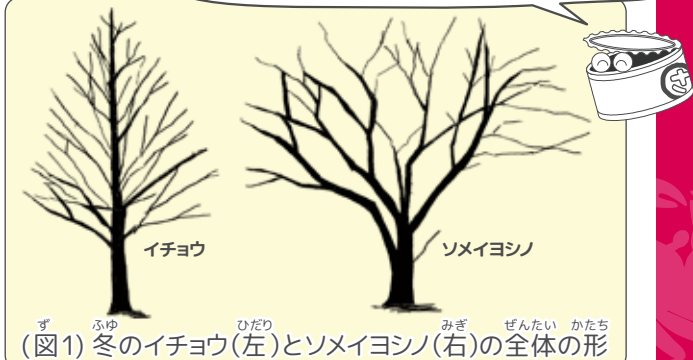


植物まつわるワークショップを担当しています。気に入っているイチヨウの葉をかたどったネックレスを、秋に付けようと取っておいて毎年忘れてしまうのですが、今年は思い出せたので身に付けてお出かけできました。



(写真1) サクラの葉の蜜腺

ひろがってるから花の見ごたえたっぷり!?



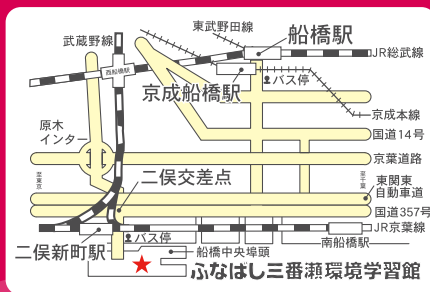
(図1) 冬のイチヨウ(左)とソメイヨシノ(右)の全体の形

ふゆ 冬のサクラを観察して春を待とう

きっとこれはサクラだ! という木を見つけたら、春まで観察してみましょう。オススメの観察ポイントは、「芽」です。ソメイヨシノの芽は細かい毛がたくさんついていて、1月を過ぎると、日に日に膨らんでいくのが観察できます。一年で一番寒い時期に、サクラはもう春の準備をしているのです。春に5枚の花びらの花が咲いたら大正解! みなさんもぜひ、春のお花見を計画しながら、冬のサクラを観察してみてください。(鷹野)



(写真2) ソメイヨシノの樹皮



ふなばし三番瀬環境学習館

【開館時間】9:00~17:00 【休館日】原則月曜日(祝日・休日と重なった場合は翌平日)、12/29~1/3 【アクセス】電車・バス: JR船橋駅・京成船橋駅、JR二俣新町駅から京成バスシステム「船橋海浜公園」行終点下車 / 車: 国道357号二俣交差点を「船橋中央ふ頭」方面へ(駐車料金普通車:500円) 【お問い合わせ】〒273-0016千葉県船橋市 潮見町40 電話:047-435-7711 FAX:047-435-7712 メール:pr@sambanze.jp 公式ホームページ: https://www.sambanze.jp/

野鳥インフォメーション

ヒヨドリは三番瀬では冬に多く見られる野鳥です。果実や虫なども食べますが、花の蜜を好み、サクラやツバキの花にクチバシを差し込んで吸う姿が見られます。(大谷)